

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	(術前・術後) Per + Trastuzumab + any Chemo
診療科名	乳腺科
診療科責任者名	福間 英佑
適応がん種	HER2陽性乳がん
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
入院外来区分	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 外来

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	BR-045
登録日・更新日	2018年12月25日登録・2024年6月25日更新
削除日	
出典	The Lancet Oncology 2013;14:461 N Engl J Med. 2017 377:122-131.
入力者	川田 暁

投与順に記入(抗がん剤のみ)

No.	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	ペルツズマブ(遺伝子組換え) (パージェタ点滴静注)	420mg	840mg/body(初回)	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	60分	Day1
	生理食塩液	250mL	420mg/body(2回目以降)		30分まで短縮可能	
No.2	トラスツズマブ(遺伝子組換え) (トラスツズマブBS点滴静注)	60, 150mg	8mg/kg(初回)	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	90分	Day1
	生理食塩液	250mL	6mg/kg(2回目以降)		30分まで短縮可能	

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能(1 日) ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	

減量・中止基準	併用する化学療法の基準に準じる 【中止基準】 ・EF <50%
催吐性リスク	最小度 制吐療法は「がん化学療法における制吐療法の標準化」を参照する
前投薬	不要(併用する化学療法の前投薬に準じる)
支持療法(その他)	不要(併用する化学療法の前投薬に準じる)
その他の注意事項	<p>【術前・術後薬物療法の場合】 術前・術後薬物療法の場合には、投与期間は12カ月間までとする。 HER2 陽性の早期乳癌の術後患者のうち、再発リスクの低い患者(リンパ節転移のない患者)における本剤の有効性及び安全性は確立していないことから、再発リスクが高い患者を対象とすること。</p> <p>【共通】 anthracycline系の薬剤を含むレジメンとの併用不可(例:FEC、EC、AC) 出典論文はドセタキセル併用であるが、他の化学療法に変更可能とする ただし、毒性などの理由により化学療法を中止する場合を除き、パージェタ・トラスツズマブ・chemoの併用を原則とする。</p> <p>投与順はパージェタ・トラスツズマブ・chemoのいずれの順番でも可とする。</p> <p>初回導入時は投与前、4カ月後、8カ月後に心エコーにてEFをチェックする。 再導入時は2コース毎に心エコーにてEFをチェックする。</p>